

感染性胃腸炎に 気をつけましょう。

この夏、「感染性胃腸炎」の代表的なウィルスの一つでもある、ノロウィルスが原因となる感染が新潟県内に於いても発症しております。ノロウィルスは冬季の感染症の典型的なウィルスであり、この時期としては珍しい感染となりました。

胃腸炎とは消化器症状を伴う感染症の総称です。その原因によりウィルス性胃腸炎か細菌性胃腸炎かに大別されます。冬季に発生する「感染性胃腸炎」のほとんどがウィルス性の胃腸炎です。しかし、この時期に発生する事は珍しいと思われれます。

感染性胃腸炎

- ・細菌（サルモネラ、コレラ、大腸菌等）が原因となる感染症。
- ・ウィルス（ノロウィルス、ロタウィルス、アデノウィルス等）が原因となる感染症。
ノロウィルス、ロタウィルスが代表的で毎年秋から冬にかけて流行します。

ノロウィルス

主症状は下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱等で、感染してから症状が現れるまでは平均1～2日です。通常は上記の症状が現れて3日間程度で症状は回復。体力が低下している場合は、重症化も考えられる為注意が必要です。幅広い年齢層で発症します。

ロタウィルス

主症状は下痢、嘔吐、発熱です。白色で水様性の下痢便が特徴です。発熱を伴う場合が多く、脱水症状に注意が必要です。感染してから症状が現れるまで約2日で、症状は一週間程度で回復します。乳幼児に多く発症し、成人の感染は少ないといわれています。

感染経路・対処法

- 嘔吐物等に、直接素手で触れたり、乾燥した細かな塵を体内に取込んだ場合に発症します。処理時はゴム手袋、マスク、エプロン等を着用しましょう。
- 嘔吐物等が飛び散らないように速やかに拭き取り、ビニール袋に入れ封をして処理しましょう。
- 衣類や寝具類等の消毒には塩素系漂白剤が有効です。

- カキやシジミ、アサリなどの二枚貝の加熱処理が不十分であった場合に発症します。
- 食品は中心部まで十分加熱しましょう。
- 調理器具は衛生的に取り扱いましょう。

感染予防の基本は「手洗い」「うがい」ですので、日頃から石鹸を使用し、流水での手洗いやうがいを習慣づけることが大切です。マスクの使用も予防には有効です。

下痢や嘔吐が見られる場合は、脱水症状を招き、症状が重くなる場合もありますので、早めに医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。

